

## 令和7年度 講座実施報告書

講座の名称	長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”フォーラム				
講座の目的	<p>ジェンダー視点で見た時、日本社会は経済的にも社会的にも依然様々な格差が存在する。長野県においても、若い女性の人口流出が問題となり、私たちの住む地域社会の存続や地元企業の生き残りに大きな影を落としており、その背景にはジェンダー格差も問題視されている。</p> <p>また、都道府県版ジェンダーギャップ指数(2025)においても、長野県は経済 37 位、教育 26 位、行政 22 位、政治 20 位にある。</p> <p>そのため、ジェンダーに関する男女双方の意識改革や理解の促進を図り、ジェンダー格差をなくすため皆で考える機会とする。</p>				
募集対象	(設定なし)				
定 員	<p>オンライン 80 名</p> <p>11 会場</p> <p>長野市 16 名 岡谷市 20 名 伊那市 30 名 駒ヶ根市 40 名 中野市 30 名 千曲市 60 名 東御市 40 名 御代田町 20 名 富士見町 60 名 松川町 30 名 阿南町 20 名</p>	<p>申 込 人 数</p>	<p>オンライン 72 名 (後日配信のみ 3 名)</p> <p>11 会場</p> <p>長野市 8 名 岡谷市 3 名 伊那市 13 名 駒ヶ根市 15 名 中野市 4 名 千曲市 9 名 東御市 10 名 御代田町 0 名 富士見町 3 名 松川町 2 名 阿南町 4 名</p>	<p>当日参加 人 数</p>	<p>174 名</p> <p>オンライン 75 名(○接続) 後日配信視聴回数 119 回 (ユニーク視聴者 3 人)</p> <p>12 会場 99 名</p> <p>長野市 10 名 岡谷市 5 名 伊那市 13 名 駒ヶ根市 15 名 中野市 3 名 千曲市 11 名 東御市 6 名 富士見町 3 名 松川町 5 名 阿南町 12 名 青木村 8 名 坂城町 8 名</p>
申込方法	<p>[オンライン] ながの電子申請サービス</p> <p>[会 場] ながの電子申請サービス、電話</p>				
託児	駒ヶ根市、中野市、東御市、御代田町(各会場 定員 5 名) 利用者なし				
回数	1 回				
開催場所	<p>・オンライン (Zoom ミーティング)</p> <p>・サテライト会場 12 : 長野市、岡谷市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、千曲市、東御市、富士見町、松川町、阿南町、青木村、坂城町</p>				
日時	6 月 28 日 (土) 13:30 ~ 15:30				
開催内容	<p>13:30~15:30</p> <p>基調講演:「地域でジェンダー平等を実現していくには」</p> <p>講師: 浜田 敬子さん</p> <p>(ジャーナリスト、前 Business Insider Japan 統括編集長、AERA 元編集長)</p>				

参加者の声

<オンライン（抜粋）>

- ・ 浜田敬子さんの話はいつも聞き耳を立てています。筋が通り、分かりやすい。
- ・ 事実婚でお子さんを育てながら、報道の第一線で働いてきた方なので、理想論だけでなく、現実主義的な講演でとても参考になりました。
- ・ 「女子の休日」を県単位、市町村単位で行うと啓蒙がセンセーショナルに広がるだろうと思った。
- ・ とてもわかりやすく、またジャーナリストらしく事実を裏付ける資料を駆使していて説得力がありました。たいへん面白く、参考になりました。
- ・ 浜田さんの講演も良く、参加者のチャットもたくさん寄せられ有意義な内容でした。

<パブリックビューイング会場（抜粋）>

- ・ 実態や現状を聞くことはよくあるが、具体的に取り組んでいることや地域でできる事の提案をして頂けたのは明るい希望が持てました。長野県版のジェンダーについて扱っていただけのもよかったです。
- ・ ジェンダーの平等には「誰かから何かをうばうことでは決してない」、「みんなが幸せになるためのもの」に心から賛同します。
- ・ 浜田さんの新聞記者、週刊朝日、AERA 時代のお話を伺えたことがよかったです。
- ・ まず自分でも出来そうなのは、目に見える風景から変えていく事かなと思いました。
- ・ ジェンダーの平等を考えるのは「偶然ではない。努力が必要」をしっかりと考えたい。
- ・ 何人かでまとまって行動することにより誰でもできること、行政でできないのであれば地域で後輩を育てていくことでもかえていけるという点はとても共感した。
- ・ アイスランドの実態。ジェンダーギャップ1位は偶然ではない。
- ・ とてもよかったです。男女平等において具体的なワークショップなどやれるものがあるとよいと思いました。
- ・ トップの意識が大事というお話が参考になりました。”
- ・ 60 年前男性の多い職場で「女だから」「女のくせに」とさんざん言われてきました。でも尊敬できる先輩はすべて女性でした。女性は強いんです。
- ・ ジェンダー、性別役割分担は、60 年前とそんなに変わっていないという感じがしています。その理由がわかったような気がします。”
- ・ とても興味深く引き込まれました。でも自身をとりまく社会にとり入れていくには・・・。大きな課題ですね。
- ・ 人口減少の歯止めにはジェンダー平等が不可欠。
- ・ 地域の活動にも女性の参加の比率を高くする必要性がある。
- ・ 無意識の偏見にも気づくことが大事。
- ・ ジェンダー問題を女性視点から考えることが必要だがその一面だけでは思考が深まらない
- ・ 性別役割分業意識が全ての社会問題にかかわっていることを理解しました。
- ・ なんとなくあたりまえと思って来た事の誤りに気づき理解が深まった。男だから、女だからと育てられた世代なので社会職場での習慣に改めて気づいた。賃金格差がない国がうら

- やましい。
- ・ 浜田先生のお話、とてもわかりやすかったです。ボトムアップ型の学びの提供の大切さを実感しました。富士見町ではサテライト会場を立ち上げてくださりありがたかったです。
  - ・ ジェンダーについて、分かりやすい・スッキリした講演でした。
  - ・ 女性が自分らしくではなく、誰もが自分らしく生きていける社会・町がいいです。作りたいです。
  - ・ 男女問わず聞くべき
  - ・ 「自分も挑戦してみる」という考えは頭では解ってるのだが、実際となると自分の意思も弱いため、しりごみする事になっているのが現状
  - ・ ジェンダー平等が改めて重要だと感じました。
  - ・ 相手を理解するためには決めつけはせずに相手の意思を尊重する事が大事だと感じた。
  - ・ 当事者の視点や声を欠いたままでは相互理解が深まるところか分断を生むだけだと改めて認識した。
  - ・ ジェンダーレスにむけては、男性・女性の幸福感をあげる事。女性に対してばかりでなく男性に対しても考えていくことが必要と改めて感じました。
  - ・ 具体的な事例を交えて日本・地域・世界の状況や課題をお示しいただき、自分の内にあるジェンダー不平等な意識について思いかえすことができました。
  - ・ 今のジェンダー平等についての問題点を具体的に説明され、とてもわかりやすかった。
  - ・ 地域でのジェンダー平等をどうアピールするか問題を感じました。
  - ・ キーワードをいくつかいただいたように思う。目に見える改革をしていきたい。提案がなかなか実現に結びつかないのだが・・・
  - ・ 人材不足の現状を打破するためには女性の賃金を上げることが必要だと思いました。
  - ・ 今後もこういった講演を聞く機会が増えるといい。
  - ・ 地域でジェンダー平等を実現していくのはまだまだ道のりが遠いです。もっと多くの視聴者があつまる事を望みます。
  - ・ 最後の方にあった「自分の中にある“女だから”をなくす」のは大事だと思いました。
  - ・ ジェンダー平等が少子化対策につながっていくことを知ることができ、私自身も何か役に立てるかもしれないとワクワクしています。
  - ・ 話が明解だった（様々なデータが分かりやすかった）。世の中の半分は女性（半分は男性だが）、女性が生きやすい活躍する社会を実現しないと日本の経済も国力も衰退していくと思います。
  - ・ 会議について同質性の高い組織の陥りやすいリスクがおもしろく大切と思いました。
  - ・ 意識を変えていくのはなかなかむづかしい。少しずつでも前進していくことが大事。

<後日配信（抜粋）>

- ・ 地方の男女共同参画について触れていただいてありがたかったです。意識改革はなかなか進みませんが具体的にまず一つ取り組むことが大切だと思いました。

- ・ 地域や家庭に帰り具体的にすることを意識できましたが実際にできるかどうか。一步一步ですね。
- ・ 男性にとって「当たり前」のくらしは女性の見えない働きあつてこそと思った。「名もなき家事」。
- ・ なんとなく「自分はダメだ」「細やかな気遣いができない」「迷惑をかけている」と仕事でも生活でも、自分が自分で女性としての物差しを使って評価していたと気づきました。もっと自由に自信をもていいのかもしれないと少し感じる事が出来ました。
- ・ 講演内容の資料が手元にあればと思いました。

## 講座の写真

オンライン配信・パブリックビューイング（会場）  
参加・託児無料

長野県男女共同参画センター“あいとびあ”フォーラム

令和7年 基調講演

**6月28日（土） 13:30～15:30**  
「地域でジェンダー平等を（受付 13:00～）  
実現していくには」

身の回りにあるジェンダー格差を見直し、  
誰もが住みやすい地域を考えてみませんか？

**講師 浜田 敬子 さん**  
ジャーナリスト／前Business Insider  
Japan統括編集長／AERA元編集長

1989年朝日新聞社入社。2014年からAERA編集長。  
2017年朝日新聞社を退社後、世界12カ国で展開  
する経済オンラインメディアBusiness Insiderの  
日本版を統括編集長として立ち上げる。2020年  
末に退任し、フリーランスのジャーナリストに。  
2022年8月に一般社団法人デジタル・ジャーナ  
リスト育成機構を設立。2022年度ソーシャル  
ジャーナリスト賞受賞。2023年10月から8リ  
グ理事も務める。

「羽鳥慎一モーニングショー」「サ  
ンデーモーニング」のコメント  
ターや、ダイバーシティなどにつ  
いての講演多数。

受講方法：オンライン配信（Zoom）定員80名  
サテライト会場（長野市 岡谷市 伊那市 駒ヶ根市 中野市  
千曲市 東御市 御代田町 富士見町 松川町 阿南町）  
＊託児は駒ヶ根市、中野市、東御市、御代田町となります。  
（未就学児童対象。事前にお申し込みが必要です。）  
＊開催後にYouTubeで期間限定の視聴ができます。  
（7月上旬からの2週間を予定しています。事前にお申し込みが必要です。）

申込期限：令和7年6月20日（金）まで

主催：長野県男女共同参画センター“あいとびあ”

申込み  
詳細は裏面



講師

## チラシ



長野市会場



岡谷市会場



駒ヶ根市会場



伊那市会場



池田町会場